



「滝河新聞」は滝川河川事務所が行っている取り組みや工事、イベント、地域の情報など様々な話題を取り上げていきます。

今回は、「雨竜川の護岸復旧工事」と「大鳳川新水路完成15周年」です。

平成26年8月4日から5日にかけて、台風12号から変わった低気圧が前線を伴って北海道付近を通過し、日本海側北部を中心に非常に激しい雨が降りました。

この影響で雨竜川の新雨煙別橋下流(幌加内町)では、護岸(10m×24m 約170㎡)が被災する事態となりました。

平成26年8月9日から10日にかけて、根固めブロック(3t級)21個・袋詰根固め38個を投入し応急復旧を行いました。その後、平成26年10月15日から11月27日にかけて本復旧工事を行いました。

平成26年8月6日  
撮影



復旧前状況



復旧工事完了



## 【大鳳川新水路完成15周年】

昭和63年8月に雨竜川流域を襲った集中的な豪雨による洪水を契機に、平成3年に洪水時の水位低下を目的とした「雨竜川捷水路事業」が計画されました。

「雨竜川捷水路事業」は雨竜川下流の湾曲部をショートカットする雨竜川捷水路工事と大鳳川の雨竜川への合流点を下流に付け替える大鳳川新水路工事により構成されています。

このうち、大鳳川新水路工事については平成7年度に工事に着手し、平成12年度に完成しました。

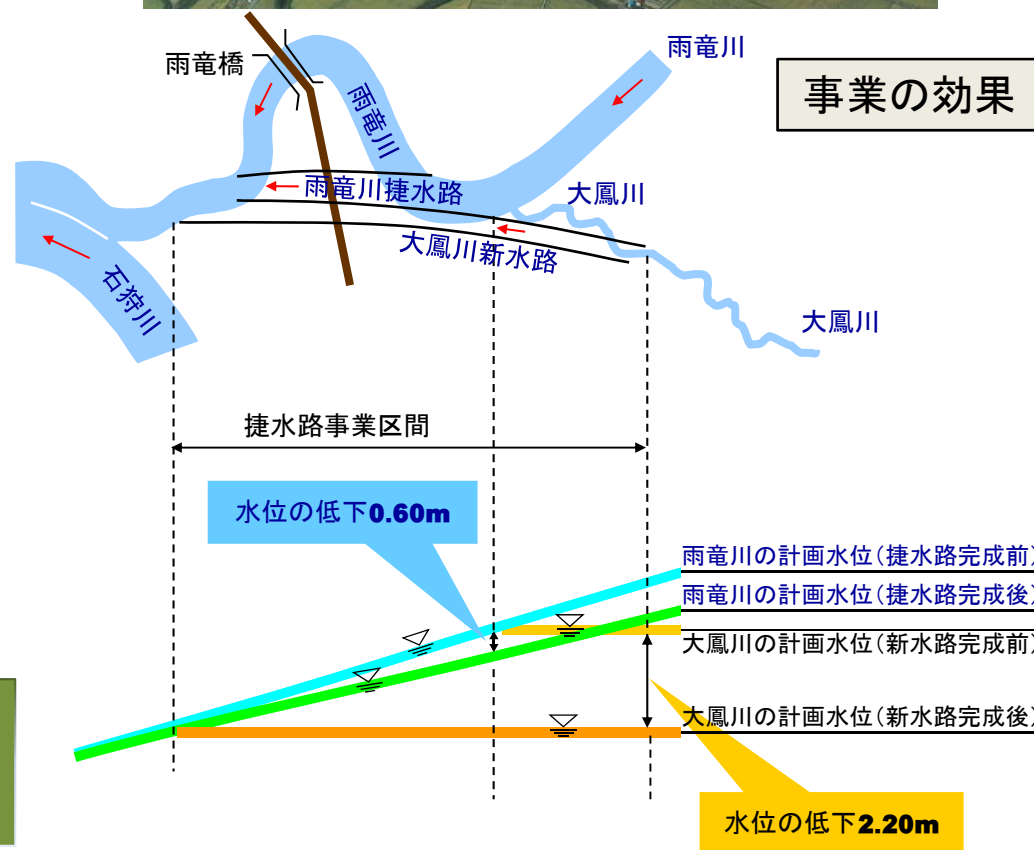
平成27年度は大鳳川新水路完成15年となります。



工事前の大鳳川と雨竜川



雨竜川捷水路事業



ご不明な点やご意見がありましたら、滝川河川事務所までご連絡ください。

札幌開発建設部滝川河川事務所 計画課 TEL0125-76-2211